

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所を使用する。補助競技場では、トラック競技・跳躍競技および投てき競技（砲丸投・円盤投・やり投の突き刺し程度）の練習を行うことができる。（練習会場使用日程表参照）
 - ・ハンマー投の練習については、補助競技場ではできない。
 - ・補助競技場での練習については特に時間厳守をお願いします。
- (2) 競技場内での練習は審判員の指示に従うこと。投てきの練習は特に安全に注意して行うこと。
- (3) 棒高跳の練習については、大会当日8：00から主競技場内を使用することができる。
- (4) 女子ハンマー投の練習については、大会当日9：30から、男子ハンマー投の練習については、大会当日11：30から、主競技場内を使用することができる。
- (5) 雨天練習場使用について・・・シート等の使用により独占的な使用を絶対に行わないこと
 - 2～4レーンは第3ゲートから第2ゲートへの同一方向走行とする。
 - 1, 5レーンを周回のみとし、逆走は絶対に行わないこと。
 - ハードルは使用できない。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は、競技場第3ゲート付近に設ける。
- (2) 招集完了時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	予 選	準 決 勝	決 勝
ト ラ ッ ク	20分前	15分前	15分前
フ ィ ー ル ド (走高跳、走幅跳、三段跳)			40分前
フ ィ ー ル ド (棒高跳)			60分前 (現地招集)
フ ィ ー ル ド (砲丸投、円盤投、やり投)			40分前
フ ィ ー ル ド (ハンマー投)			30分前 (現地集合)
混 成 競 技			20分前

- (3) 招集時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。
- (4) 招集の手順
 - ①競技者は招集完了5分前までに、招集所競技者控所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
 - ②混成競技は第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については、混成競技係が混成競技控え室で点呼・確認後、流し記録用紙とともに、各競技場所に誘導し担当審判員に引きつぐ。（混成競技控え室は「第2南トレーニングルーム」とする）
 - ③競技者控所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ④代理人による点呼は原則として認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所の競技者係に2種目同時出場届を提出する。
 - ⑤リレー競技に出場するチームは、その種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに競技者招集所に用意しているオーダー用紙にオーダーを記入し、1枚提出すること。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらず、オーダー用紙にオーダーを記入し、招集完了時刻の1時間前までに提出すること。
 - ⑥棒高跳、ハンマー投の点呼は競技場で行う。点呼終了後は公式練習に入る。
 - ⑦出場種目を欠場する場合は、招集完了時刻までに招集所の競技者係に欠場届を提出すること。

4 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外グラウンド内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4) トラック競技（セパレート種目）において、8名（8チーム）以内の場合は2～9レーン、9名（9チーム）の場合は1～9レーンで行う。
- (5) トラック競技の判定は、全て写真判定装置で行う。
- (6) 4×100mRの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー（1カ所）を使用することができる。マーカーは監察員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- (7) 4×400mRの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、テイク・オーバー・ゾーンの内側より走り出さなければならない。

- (8) フィールド競技者は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。ただし、走高跳は各自で準備すること。
- (9) 携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (10) 競技中に起きた競技者の行為または順位に関する抗議は、TR8.2に基づき、正式に結果が発表されてから30分以内に、次のラウンドが当日行なわれる場合では15分以内に、当該競技者自身または、顧問が、口頭で審判長に申し出ること。
- (11) 四国高等学校陸上競技選手権大会代表者決定試技（走高跳、棒高跳）の代表者決定の方法は、ジャンプオフによるものとする。
- 5 競技用シューズについて
スパイクの長さは9mmをこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は12mmをこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が4mm以内でなければならない。また、スパイクの数は11本以内であれば何本でもよい。靴底の厚さについては日本陸連競技規則のとおりとする。
- 6 アスリートビブスについて
アスリートビブスは指定された大きさで、ユニフォームの胸部と背部に付けること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。またトラック競技者（800m以上の種目、および、4×400mRの第4走者）は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの後方に付けること。
- 7 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について
陸上競技ルールブック2026「競技会における広告および展示物に関する規程」の通りとする。
- 8 競技の抽選ならびに番組編成について
- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に組み、レーン順を決定する。その結果を記録掲示板に掲示する。
- (3) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。
また、リレー競技に出場するチームは、同一のデザインで参加しなければならない。
- (4) トラック競技において、プラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者（判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差を判定し、着差がない。）が出た場合は、下記の方法で決定する。
- ① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mRの同タイム者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンが不足する場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ② 1500m・3000m・5000m・3000mSC・5000mWの同タイム者は、次のラウンドに進むことができる。
- 9 競技用具について
- (1) 競技に使用する用具は全て主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用することができる。個人所有のポールの検査は点呼時に跳躍審判員が行う。
- (2) 練習用として個人の用具は競技場に持ち込んではいけない。
- 10 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方
- | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 走高跳 | 男子 | 1m40・1m65(練習) | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 1m65 | 1m70 | 1m75 | 1m78 | 以降 3cm |
| | 女子 | 1m20・1m40(練習) | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m48 | 1m51 | 1m54 | 以降 3cm |
| 棒高跳 | 男子 | 3m40・4m20(練習) | 3m00 | 3m20 | 3m40 | 3m60 | 3m80 | 4m00 | 4m10 | | 以降 10cm |
| | 女子 | 2m20・3m20(練習) | 2m20 | 2m40 | 2m60 | 2m80 | 3m00 | 3m10 | 3m20 | | 以降 10cm |
- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合の順位決定、および四国高等学校陸上競技選手権大会代表者決定試技における代表者決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- 11 混成競技におけるバーの上げ方
走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。

男子 8 種	1m35 (練習) 1m40 1m45 1m50 1m55 1m60 1m63 1m66	以降 3cm
女子 7 種	1m10 (練習) 1m15 1m20 1m25 1m30 1m33 1m36 1m39	以降 3cm

12 競技場の入退場について

- (1) トラック競技の競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。
- (2) フィールド競技の競技者は係員の指示に従って入退場する。ただし、棒高跳・ハンマー投の選手は各自で入場する。
- (3) フィールド競技の入賞者は当該審判員が、トラック競技の入賞者は係員が表彰者控所に誘導する。

13 表彰について

- (1) 各種目第 3 位までの入賞者はチームジャージ等で表彰を受けること。その際入賞者は決勝終了後入賞者控場所（正面玄関ロビー内）で待機し、係員の指示を受けること。
- (2) 入賞者の得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点・・・8 位 1 点とする。

14 その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド下の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者はマイナ保険証等、被保険者資格の確認ができるものを持参すること。
- (2) 更衣は男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、陸上競技場本部の記録証交付係に記録証交付願及び交付料金 500 円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は正面玄関 2 F の記録掲示板に掲示する。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所は観客席芝生スタンドとバックスタンド 2 階通路から上の場所に限る。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (6) その他、詳細については監督会議で説明する。
- (7) 届け出用紙は以下の場所に用意してある。
 - ・ 2 種目同時出場申請書・欠場届・リレーオーダー用紙・・・招集所競技者控え場所
 - ・ 記録証明書交付願・抗議申立書・・・本部（主競技場 1 F 会議室 4・5）

15 練習会場日程

	6 月 6 日 (土)	6 月 7 日 (日)	6 月 8 日 (月)
主 競 技 場	7:30~9:00 トラック競技 跳躍競技 女子棒高跳 (13:30~15:00) 女子ハンマー投 (9:30~10:00) 男子ハンマー投 (11:30~12:00)	7:30~9:30 トラック競技 跳躍競技	7:30~9:30 トラック競技 跳躍競技
雨 天 練 習 場	7:30~17:00 トラック競技 跳躍競技	7:30~18:00 トラック競技 跳躍競技	7:30~17:00 トラック競技 跳躍競技
補 助 競 技 場	7:30~17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 男子円盤投 (10:00~12:00) 女子円盤投 (12:00~14:20) やり投 (15:00~17:00)	7:30~18:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 男子円盤投 (7:30~9:20) 女子やり投・女子 7 種やり投げ (10:00~13:20) 男子やり投 (14:00~16:00)	7:30~17:00 トラック競技 跳躍競技 砲丸投 男子やり投 (8:00~11:50)

*ハンマー投は、主会場で 60 分前から 30 分間練習可能

*上記補助競技場のやり投練習時間については、フィールド内の規制を行い、やり投げを優先する。